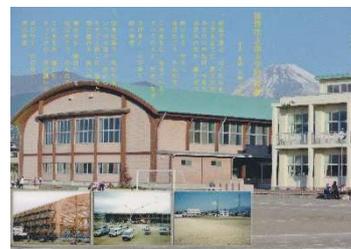




南小

夢と輝き通信



発行 2021年3月17日
 文責 裾野市立南小学校
 夢と輝きの教育推進会

第8号



地域・家庭・学校とで、小南地区の「めざす子ども像」を共有していくことで、全ての支援活動が、子どもたちが大きく成長していくための【きっかけ】になっていると感じました。

普段なかなかできない体験や1人では難しいことも、より多くの方に関わっていただくことにより、興味がなかったことでも興味を持ったり、今まで思いもよらなかった新しいことを発見したりと、多くの体験ができました。

来年度も、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える活動の一助ができるよう、努力していきます。ぜひ、地域の皆さんのお力をお貸しください。

2月3日に計画していた夢と輝きの教育推進会は、県警戒レベル5で、できるだけ外出機会を減らすことが求められていたため、開催できませんでした。そこで、会で共有したかった内容を、学校と協力してこのお便りにまとめました。南小保護者の皆様は、お子さんと一緒に、地域にお住まいの皆様は、会議録としてご覧いただければ幸いです。

報告事項

11月11日(水)	令和二年度第3回夢と輝きの教育推進会
11月13日(金)	伊豆島田シニアクラブ 1年生芋堀
11月16日(月)	フリー懇談会・保護者相談
11月19日(水)	フリー懇談会・保護者相談
11月21日(日)	家庭教育学級お飾りづくり動画撮影
11月27日(金)	県教育委員会「静岡県学校・家庭・地域連携推進委員会」出席(県庁)
11月30日(月)～	読み聞かせ活動開始
12月 3日(木)	市校長会 コミュニティスクール研修出席
12月 7日(月)	豊富士商事様 リサイクル授業 4-1
12月 8日(火)	豊富士商事様 リサイクル授業 4-2
12月 9日(水)	バックサポーター贈呈式
12月13日(日)	堰原区有志 藤棚剪定
1月20日(水)	裾野市コミュニティスクール検討委員会
1月22日【金】	4年生防災教室(危機管理課依頼)社会科見学代替
1月29日(金)	お父さん先生・お母さん先生 職業講話(中止)
2月 3日(水)	市P連より南小児童会が表彰されました
2月14日(日)	漢字検定本番
2月17日(水)	自転車通学路安全点検遠足
3月 1日(月)	市内スクールコーディネーター会議



～地域の方・保護者の支援～	～地域の方・保護者が子どもたちと一緒に活動～
旗振り	南小卓球部(土曜日開催)
シニアクラブ草取り	漢字検定チャレンジクラブ(水曜日の放課後)
夜間パトロール	
読み聞かせ	
家庭科支援	
苗木や草花の寄付	
芋堀り	などなど
校外学習	
ムクロジ資料の提供(植樹延期に伴い資料や伐採樹の提供)	
トイレ清掃	



サポーター&掃除用具 随時募集

～トイレ清掃サポーター活動～

月・水・金 13:25～14:00

来校できる日だけの参加で大丈夫です

～掃除用具～

トイレ除菌シート・トイレ洗剤・使い捨てビニール手袋・

使い捨てマスク・メラミンスポンジ

▶ 安全支援員(立哨指導)の皆さんから



ハンカチ、ありがとう。素直でいい子たちで、通信票を見せてくれた子もいるよ。子どもたちが学校や大人を信頼していることが分かるよ。成長の違いがあってもいちごと同じ。今青くても今日赤くなるか明日赤くなるか、それだけの差だよ。

危ないことはないなあ。でも、時間に余裕がないと、青信号で渡ろうとして駆け込むことになるから、ひやっとするよ。「元気か?」「元気です!」「元気がいちばん」「はいっ!」大きな声で返事や挨拶が返ってきて、気持ちがいいよ。



前の人を追い抜くとき、後ろをよく見てから追い抜かないと危ないよ。大勢で話しながら歩くときは、広がらないように気を付けて。通る車にはゆっくりするように、私らが声を掛けているからね。



ハイタッチ挨拶が、毎日楽しみだよ。みんな安全に横断歩道を渡れているよ。

朝早い子と遅い子がいるから、もう少しまとまって登校できるといいね。

卒業おめでとう。私の方が、みんなから元気をもらっているよ。ありがとう。

これからも、自分の目標に向かって、元気にがんばってください。



ここは、信号機がない横断歩道で、車が思いがけない方向から(前方だけでなく、横や斜め後ろからも)来るよね。車が何台かつながっていると、死角ができて、運転手さんには、車の陰から子どもがひょっと出てくるように見えるんだよ。



▶ 休日の運動場使用について

南小運動場南側のサッカーゴールは、休日は使用禁止にしています。

(南側は住宅がすぐそばなので、騒音に注意して運動場を使用してもらい、サッカーゴールを使うときには、北側を使ってもらうようお願いしています。)

このことを回覧板でお願いしたところ、皆さんからご協力いただいて、現在は、ほぼこのルールを守れています。



▶ コミュニティスクールについて

地域の宝である子どもたちを健やかに育てるためには、学校だけでも家庭だけでなく、地域の力が必要です。地域が、学ぶきっかけになる体験をしたり学んだ力を使ったりする場になると、子どもたちの力が本物になっていくからです。地域の人とつながったり、一緒に学んだりする体験も、大切です。

南小は、これまでも地域に支えられ地域の人と共にある学校でしたが、さらにつながりを深めるために、令和4年度に「学校運営協議会」という新しい組織を作り、名実ともにコミュニティスクールになります。令和3年度はその準備を進めていきます。これまでの「夢と輝きの教育推進会」が“実働部隊”とすると、「学校運営協議会」は学校運営の“ブレーンの役割”をお願いすることになります。